

自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成18年度より法人全体でISO9001のサービス品質管理システムを基準に、事業所ごとにサービスの品質向上に取り組んできた。グループホーム敬愛では、18年度に引き続き19年度も『近隣、地域との交流の機会を増やし、近隣のグループホームへの理解を向上させる。』『利用者ごとの希望を吟味し、特に外出の機会をふやす。』を品質目標に掲げ、職員一同サービスの向上に取り組んでいます。	○	19年度の品質目標の実施項目は、『散歩時の挨拶を積極的に行う』『地域交流行事への参加や企画』『利用者ごとに毎月の外出目標を実行する』ときめ、職員一同取り組んでいます。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝引継ぎ時、法人福祉観を始め理念・運営目的・サービス方針・職員姿勢・品質目標の唱和を行っています。また、品質目標の実施項目の達成度を具体的に日誌に記録し、定期的に評価することで業務の中に自然と理念の実践が来ています。	○	管理者、職員ともに現状の取り組みを継続し、よりサービスの向上に努めます。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	1回目の運営推進会議より家族や校区民生委員長を招き地域密着型サービス創設の目的について機会あるごとに説明してきた。今回のサービス評価前にもはじめて自治会会長を迎え地域密着型サービスの設置目的や、事業所の理念、取り組み内容について説明しています。	○	現状通り、定期的に理念や取り組み内容を家族や地域代表者お知らせしてまいります。また、『挨拶』をとおり認知症やグループホームへの理解を深めていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩・買い物時の積極的な挨拶の実施や庭の草花や飼っているウサギを通して隣近所との交流があり、日常的なつきあいができるように努めています。	○	現状通り、『挨拶』をとおり認知症やグループホームへの理解を深め、日常的なつきあいができるように努めてまいります。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	昨年度初めて地区の民生児童委員長の仲介で地域の行事『とんど焼き』に参加できました。	○	『地域交流行事への参加や企画』を19年度の品質目標にあげています。地域との関わりを深め、地域の行事への参加や私たちの事業所が出来る事を企画していきたい。
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	入居希望家族等への介護相談は、随時行っています。また管理者は、H18年度末、認知症キャラバン・メイトに登録したところです。	○	事業所にできる社会貢献について職員とともに考え、取り組みたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を实践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	地域密着型サービス第三者評価を受けるに当たり毎年直前に職員に対し研修を行い評価の意義の理解を深める努力をしています。また、評価で受けた提案、助言は、職員間で検討し是正策を講じています。	○	地域密着型第三者サービス評価を事業所のサービスの質の向上・確保のために重要な機会であることを運営者、管理者、職員は、ともに認識し活用してまいります。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行っています。そこの意見をサービス向上に活かしています。	○	運営推進会議では、事業所側からの報告が一方的にならないよう参加構成員ひとりひとりの立場からの質問、意見、要望を引き出す努力をしています。それらを検討・活用してサービスの向上に努めます。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	頻度は、低いですが地域包括支援センターを中心に交流、連携の機会を持ち市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	○	今後地域包括支援センターとの交流、連携とともに市町村担当者ととの交流、連携を深めていきたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は、地域権利擁護事業や成年後見制度について複数の研修にて学んでいる。職員には、研修や機会あるごとに利用者それぞれに対し制度の必要度を説明し、制度の理解を深めるようにしています。また、家族に対しても運営推進会議での紹介する機会を持つようにしています。	○	職員への研修や家族への制度の紹介を継続し、必要な利用者に対し、円滑に制度の利用ができるように努めたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について認知症介護実践リーダー研修において講義を受講しています。また、事業所や法人内の研修の機会や日常業務中に高齢者虐待防止関連法に関する情報を提供し、事業所内で起こりうる虐待行為について全員の意見を持ち寄り話し合いその予防に努めています。	○	継続的な研修の実施と虐待予防に向けての取り組みをおこないます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。特に、事業所の出来る事、出来ない事の説明を行っています。	○	現状の維持をしたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者が、介護計画の見直しの際定期的に利用者の希望を聴き取るようにしています。また、不満や苦情を出しにくい利用者には、家族や他の職員から聴き取る努力をして、利用者の不満をためない努力をしています。	○	現状の維持をしたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月定期的に利用者ごとの『えがお通信』を発行して、行事や外出状況、金銭管理の詳細、体重の変化について家族に報告しています。また、面会時には、必ず、介護の提供状況や個人の金銭出納帳に目を通し捺印してもらいます。職員の異動についても運営推進会議や会議録の配布、面会時に報告を行っています。	○	現状の維持をしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せるよう、『ご意見箱』を設置している。また行政や国保連の連絡先、事業所の苦情解決担当者や苦情解決の流れを掲示している。	○	現状の取り組みを維持し、家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せるように致します。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、毎月の定例会議や業務改善提案書を活用して職員の意見や提案を聞く機会を設けている。また、事業所内で年2回の定期的職員面談や年1回、それぞれの職員に『自己報告書』を提出してもらい、意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させています。	○	現状の維持をしたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	少人数の職員ですが、できるだけ利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう努めています。	○	現状の維持をしたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、グループホーム開設時より変わらず、グループホームの業務につき、家族や利用者の相談窓口として信頼関係を築いております。昨年度、職員の異動が有りましたが、認知症介護の経験や知識をもつ職員の配置をしたため利用者への影響はほとんどありませんでした。	○	現状の維持をしたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、法令で定められた研修を受講している。職員の研修については、年間計画を立て計画的に研修が受講できるように配慮しています。今年度は、特に職員全員が、各テーマを担当し研修会を開催する計画を立てています。	○ 職員育成のための努力を行っていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の連絡会や研修会参加時に同業者との交流を持ち情報の交換や相談などを行い、サービスの質の向上に努めています。	○ 現状通り、積極的に同業者との交流を続けていきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人や管理者は、職員との定期的な面談や報告書の提出は、もとより日頃から職員のストレスや悩みを把握できるように対話を欠かさないようにしています。	○ 現状の維持をしたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得者への評価として資格手当での支給やパート職員に対する社会保険への加入など職員が向上心を持って働けるよう努めている。	○ 現状の維持をしたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている 管理者が相談・面談を行うことにしている。時間をかけてフェスシートにもれなく本人の希望を聴くことができるよう努力している。	○	現状の維持をしたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている 職員は、利用者の状況とは、別に家族等への支援も大切なことと理解し必要な時に家族等と話しを聴く機会を持っています。	○	現状の維持をしたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている 早急な対応が必要な相談者に対しては、必要なサービスや相談機関や医療機関の紹介を行い、相談者に不利益にならない対応を行っています。	○	現状の維持をしたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している グループホームの利用は、本人が納得して利用することが望ましく、相談者に対して常に本人を同行していただくよう説明しています。実際に利用までに複数回訪問された利用者もあります。	○	利用までに本人の納得が得られる取り組みを工夫したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、グループホームの運営の目的を理解しており利用者への声かけも相手を敬う配慮をしています。それぞれの利用者や職員には得意なことがあり、それを活かしお互いを認め合う関係を築くよう努力しています。	○ 現在の良好な関係が保てるよう努力いたします。
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員の出来る事、出来ないことを正直に家族に話しともに本人を支えるよう家族の協力も得るようにしています。	○ 現在の良好な関係が保てるよう努力いたします。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人や家族等の面会時等を利用して本人と家族との関係について情報を収集し、本人や家族間の良好な関係作りを支援しています。	○ 現状の維持をしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの店や人のいる場所への外出支援や電話や手紙などの利用支援が、利用者にとって安心と安らぎをもたらすことを理解し、支援をおこなっています。	○	現状の維持をしたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者間の人間関係を常に把握できるよう情報を収集し、利用者皆さんが快適な生活ができるように配慮してそれぞれを認め合い、尊重できるように支援してます。	○	現状の維持をしたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も必要な時は、家族の相談に応じています。また、行事等で利用者に会う機会を持つようにしています。	○	現状の維持をしたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○	職員全体で常に意識して本人や家族等から本人の思いや希望を聴き取る努力をしています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	現状の維持をしたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○	職員と協力してさらに一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように工夫してまいります。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	職員は、毎月1度や必要時のケアカンファレンスや毎日の引継ぎの際本人に適切なケアについて常に話し合っています。介護計画には、そのような職員や家族の意見を反映できるように工夫しています。	○ 現状の維持をし利用者本位の介護計画を作成していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	決められた期間内の見直しや必要な際、速やかな介護計画の変更をおこなっています。	○ 現状の維持をし利用者の現状にあった介護計画を作成していきたい。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の様子やケアの実践、活動の結果利用者の精神状況や取り組み方等を青字で記録するようにして、職員間で情報を共有し、利用者のケアや介護計画に活用できるようにしている。	○ 現状の維持をし利用者にとって適切なサービスの提供をしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている 急な通院や外出希望時には、他の利用者のケアに支障がないよう調整して、できるだけ本人や家族への支援をおこなうようにしています。	○	現状の維持をし利用者から喜ばれるサービスの提供を心掛けていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している 利用者が安心して地域で暮らせるよう親交のある民生委員やボランティアの交流の支援をおこなっています。また、公共の図書館の利用も定期的におこなっています。	○	利用者の状況に応じて支援を続けてまいります。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている 利用者の意向や必要性がないため地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしていない。	○	利用者の意向や必要性があれば、他のサービスの活用支援を検討したい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している 現在のところ地域包括支援センターとの協働が必要な利用者がいないため行っていない。	○	利用者の意向や必要性があれば、当然地域包括支援センターとの協働していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望されるかかりつけ医となっています。原則家族が通院対応することになっていますが、状況により事業所がおこなったり、往診の対応をおこなっています。利用者により主治医は、異なっており複数の医療機関と関係を密に保っています。	○	現状の維持継続をおこないます。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者の主治医に認知症専門医がおられ、助言をえている。また、専門医への受診が必要な場合は、主治医と相談して受診支援をおこなっています。	○	現状の維持継続をおこないます。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	同法人内の訪問看護ステーションと契約し、日常の健康管理や24時間相談助言ができる体制を整えています。	○	現状の維持継続をおこないます。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めています。	○	現状の維持継続をおこないます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	○	機会を作り家族や利用者本人の方針や意思確認が取れるよう取り組みたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	○	利用者の年齢や状況を考慮し重度化や終末期に向けた勉強会をはじめたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	○	現状の維持継続をおこないます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者の尊厳やプライバシーが守られる工夫を記録を含め個人情報の取り扱いを定めて実行しています。	○ 利用者の尊厳やプライバシー保護の認識を常に保てるよう日々の業務の中で徹底を図ります。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	献立選びや調味料の選択など、選ぶことができる働きかけを生活の中で心掛け、利用者が自分の希望や選ぶことの楽しみを維持できるように支援しています。	○ 現状の維持継続をおこないます。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな生活のスケジュールは、決めているが利用者の希望や体調、気分にあわせてその人らしい暮らしを送れる様、他の利用者との関係も配慮して支援しています。	○ 現状の維持継続をおこないます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者ごとの身だしなみやおしゃれの好みを知りお化粧の支援や定期的な美容院の利用支援をおこなっています。また、理容・美容は、地域や本人の希望の店にいけるよう支援をしています。	○	現状の維持継続をおこないます。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と季節に合った献立を一緒に考え、買い物や調理、片付けもそれぞれの利用者にかかわってもらっています。畑や庭で育てた作物が食卓に上ることもあります。もちろん、食事は、毎食利用者と職員は、同じテーブルを囲み、同じ物を食べています。 会話を楽しみながら食事をしています。	○	食事を楽しめるよう現状の支援を維持継続いたします。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族や主治医との協議の上で利用者の嗜好を尊重したおやつや買い物の支援や喫茶の利用をしています。	○	現状の維持継続をおこないます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者一人ひとりの排泄パターン・習慣を把握できるように記録をとり、アセスメントをおこなうことで利用者の排泄パターン・習慣に応じた排泄支援をしています。	○	現状の維持継続をおこないます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しむように支援している	利用者が日々楽しめるよう入浴の順番の工夫やバラ風呂をはじめ変わり湯を提供することで、潤いや楽しみを感じられるよう支援しています。	○	利用者が入浴を楽しむことができるよう特に変わり湯の工夫をしたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の体調管理、精神状況に気を配り休息を含めた活動の支援をおこなっています。	○	現状の維持継続をおこないます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を把握しそれに合う役割・仕事趣味活動を考え提供し、生活に張り合いや生きがい・楽しみが感じられるよう支援しています。	○ 利用者の状況の変化に応じた、対応が適切にできる支援を継続いたします。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、利用者がお金の扱いを継続することの大切さを理解しており、利用者の希望や力に応じて利用者自身の買い物や喫茶利用時にお金を扱えるよう支援しています。	○ 利用者の状況の変化に応じた、対応が適切にできる支援を継続いたします。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出支援の大切さを職員一同が理解しており、今年度のサービスの品質目標に『利用者ごとの希望を吟味し、特に外出の機会をふやす。』をきめています。より利用者の希望に添える外出支援ができるよう具体的な方法を利用者ごとに定め、毎月目標が達成できるように取り組んでいます。	○ 現状の支援の維持継続をおこないます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日常の外出支援のほかに事業所で企画して季節ごとの外出支援をおこなっています。その際、家族にも声をかけて希望者には、参加していただく工夫をしています。	○	現状の支援の維持継続をおこないます。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。利用者により趣味活動の一環でちぎり絵の葉書を他府県に住む娘に送付の支援をしたりしています。	○	現状の支援の維持継続をおこなうとともに他の利用者にも支援の必要性について検討します。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう職員は、訪問しやすい雰囲気作りや湯茶を提供するなどしている。また、面会時間は、訪問しやすいよう特に制限していません。	○	現状の維持継続がおこないえるよう職員に徹底させます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	新任の職員には、初任者研修として必ず身体拘束についての研修をおこなうことにし、具体的な身体拘束の意味を理解し、ケアに反映できるようにしています。また、法人は、身体拘束をしないケアを方針にし実践しています。	○	現状の維持をしたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は、無断外出の危険性と鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の状況を見守り把握した上で鍵をできるだけかけないように工夫しています。	○	安全の確保に十分留意して、現状の鍵をかけないケアに取り組んでいきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜を通し、定期的に利用者の安全確認ができるよう個別に時間を設定しています。特に夜間は、利用者ごとに巡回時間の設定や記録をおこなっています。	○	現状の維持をしたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居中の利用者の状況に応じて、生活用品の保管場所や方法を工夫して、危険回避できる取り組みをしています。	○	利用者の突然の状況変化に対応できる範囲で現状の維持継続をおこないます。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	法人内での事故情報や事業所内での事故から事故防止のための知識を学び、理解を深め、利用者一人ひとりの状況に応じて声かけや見守り、環境整備をしています。利用者が安全に過ごせる工夫をしています。	○	現状の維持をしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応の研修会へ年1回の参加や事業所内で必要に応じて対応についての話し合いを持っています。	○	全ての職員が緊急対応の訓練を受けることができるよう努力いたします。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策の手順書を作成しており、それに従い年2回の防災訓練を取り入れ実践しています。地域に対しては、消防署より配布されたポスターの掲示や運営推進会議での交流を通し協力への働きかけをおこなっています。	○	現状の手順書の遵守や地域の支援が得られるよう交流を深めるよう努力をしていきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	それぞれの利用者に応じたリスクについては、家族に説明しているが、家族により不十分な場合もあります。	○	今後、それぞれの家族とのリスク対応やターミナルについての考え方の話し合いを持ったり、家族対象の認知症の研修会を開催し病気やリスクに対する理解を深めていきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員は、日頃から利用者の状態を把握しており、体調の変化や異変時には、速やかに管理者や看護師、主治医、家族等に連絡、相談、対応できるようにしております。	○	現状を維持します。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、薬の目的や副作用、用法や用量について理解できるよう薬情報を利用者ごとにファイルし見やすい工夫をしています。また、新規の薬については、情報を共有できるよう日誌や全体の服薬一覧表に記載して服薬の支援と症状の変化の確認に努めています。	○	現状を維持します。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解しており、利用者の水分量、食材・食事摂取量、運動量の把握に努め必要な支援をおこなっています。	○	現状を維持します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨き・液体歯磨き・義歯洗浄液などを使用して口腔内の清潔保持とともに病気予防に努めています。利用者のできる能力を把握して、適切な支援をしています。	○	現状を維持します。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は、利用者に必要な食事量や栄養・水分量を管理栄養士や看護師の助言や情報を得ながら理解、知識の深めています。それらを元に利用者の必要度に応じて毎食ごとの食事量や水分量の把握、支援をおこなっている。	○	現状を維持します。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	日頃から感染症予防のための手順書に定めて、実行しています。	○	現状を維持し、感染症予防に努めます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手順書に従い、衛生管理を行っています。定期的な食材管理や冷蔵庫を含めた清掃・消毒を行っています。買い物時日付、産地などを確認し新鮮で安全な食材の使用と管理を行っています。	○	現状を維持します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	親しみがもてるように玄関先にプランタンを置き、植木やバラを植えている。表札も手作りのものをかけ、玄関の鍵もできるだけ開け、出入りしやすい工夫をしています。	○	現状を維持します。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員は、昼夜を通して適切な照明や日光への配慮、テレビの音量や会話等の音への配慮が必要なことを充分把握して、利用者の快適な生活を支えている。また、季節感を大切にしており、装飾や生け花など工夫しています。	○	現状を維持します。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆとりのあるリビングには、椅子やソファを配置している。また、居室廊下側にもソファを置いて気の合った利用者同士が語らい会えるようにしています。	○	現状を維持します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の希望や家族の協力の下でなじみのものや本人が親しみを覚えるものを置いたり飾ったりして工夫しています。	○	家族や本人から話を聞き、本人が、居心地よく過ごせる居室への配慮を行います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日中、常に換気をしにおいや空気のだよみがないうに努めている。温度調節も利用者ごとの状況に応じてこまめに行っています。 また、乾燥する冬場などは、加湿器を設置しています。	○	現状を維持します。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状況を把握し、それにあわせて廊下や浴室、トイレに手すりを設置しています。浴室は、安全に入浴できるようシャワーチェアを脱衣場にも置き事故予防に配慮しています。	○	現状を維持します。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者により空調設備や居室の照明への混乱がある場合、その情報を収集し混乱予防の対策を職員間で話し合い、統一した支援を提供することで、利用者のわかる力にあわせた支援の工夫をしています。	○	利用者によりわかる力の差があることを十分理解し、環境作りへの支援を継続してまいります。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭や玄関、外周りに植木を植え、プランタン・ハンギング・畑などを設置して園芸を楽しむ工夫をしています。クリスマスには、イルミネーションを飾り、利用者の楽しみを工夫しています。	○	現状を維持します。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

環境面で、ゆったりとした居室やリビング、それらを囲む開放的な緑豊かな中庭は、利用者の生活に潤いと憩いをもたらしています。